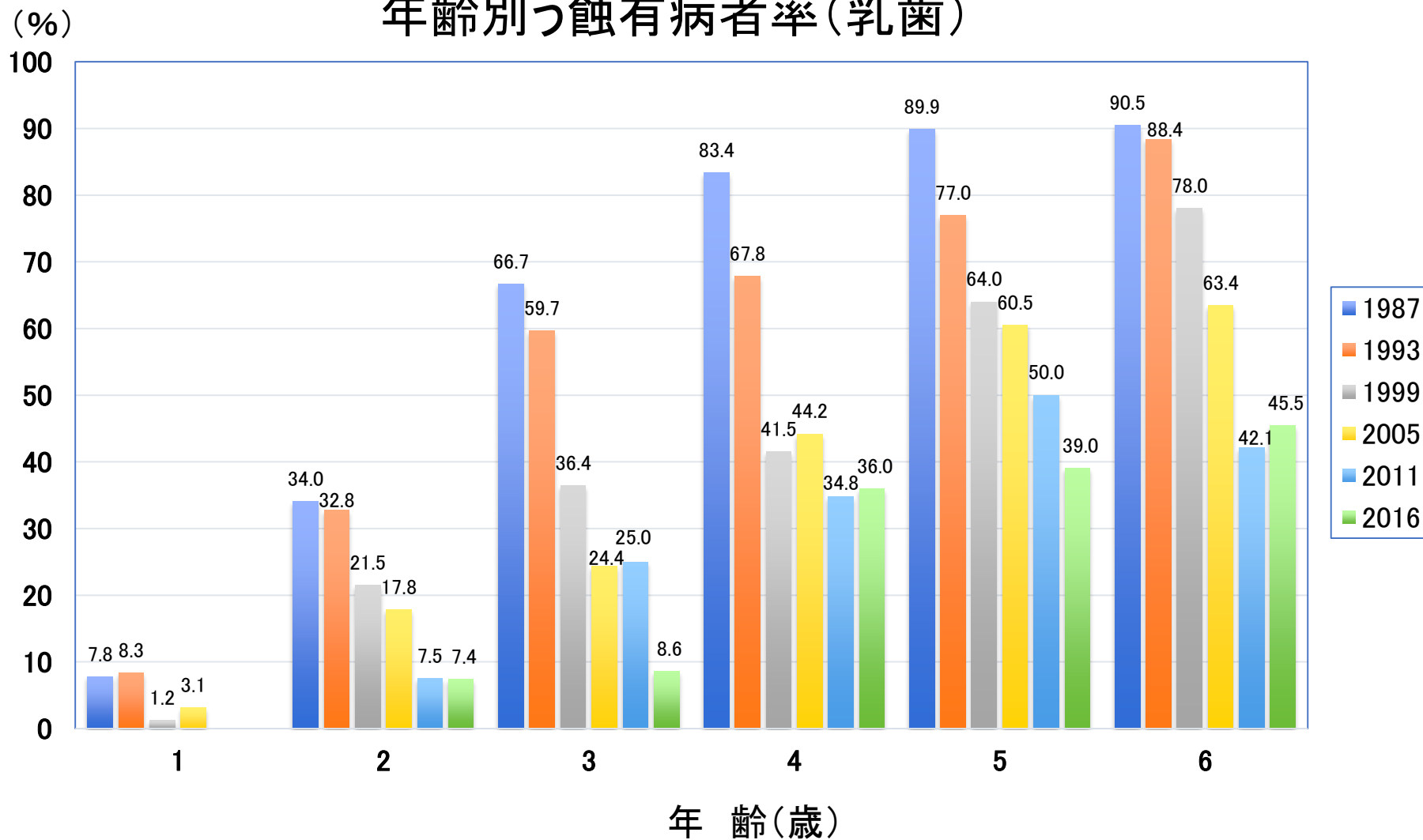


平成31年2月15日	委員提出資料
第3回 歯科口腔保健の推進に係る う蝕対策ワーキンググループ	

小児のう蝕対策について

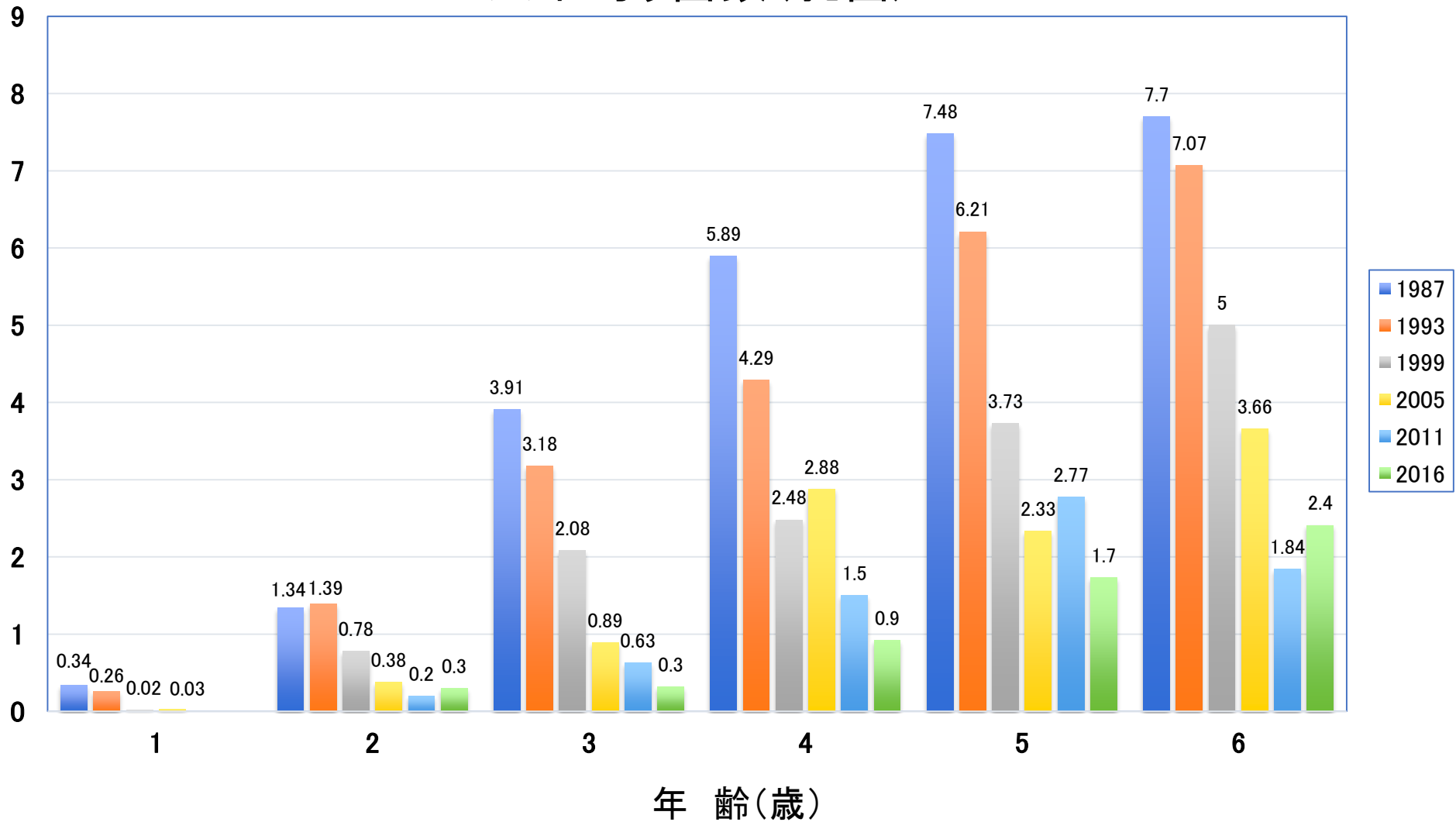
神奈川歯科大学大学院歯学研究科
口腔統合医療学講座小児歯科分野
木本 茂成

年齢別う蝕有病者率(乳歯)

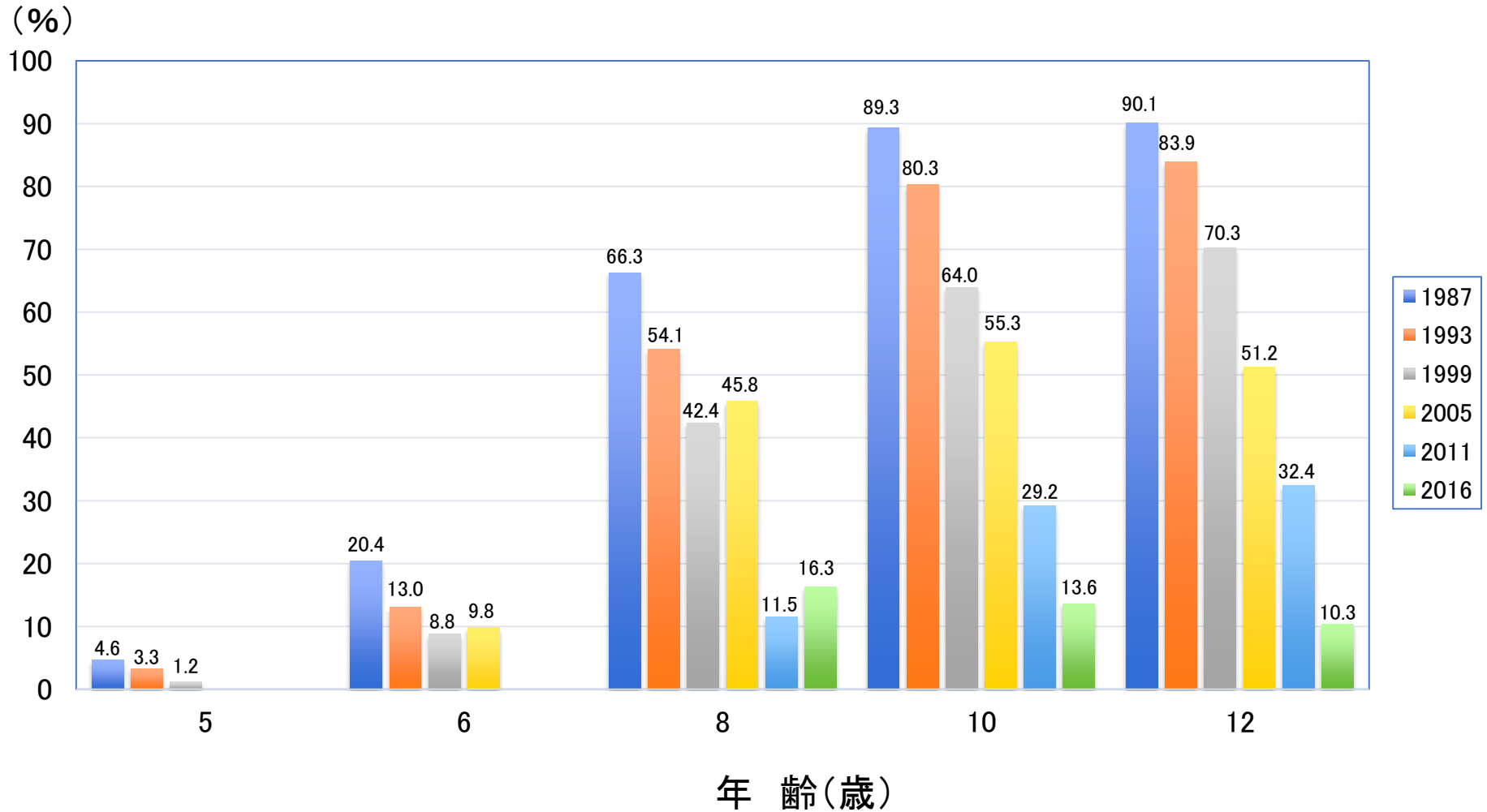


厚生労働省歯科疾患実態調査報告より作成(1987-2016年)

1人平均う歯数(乳歯)

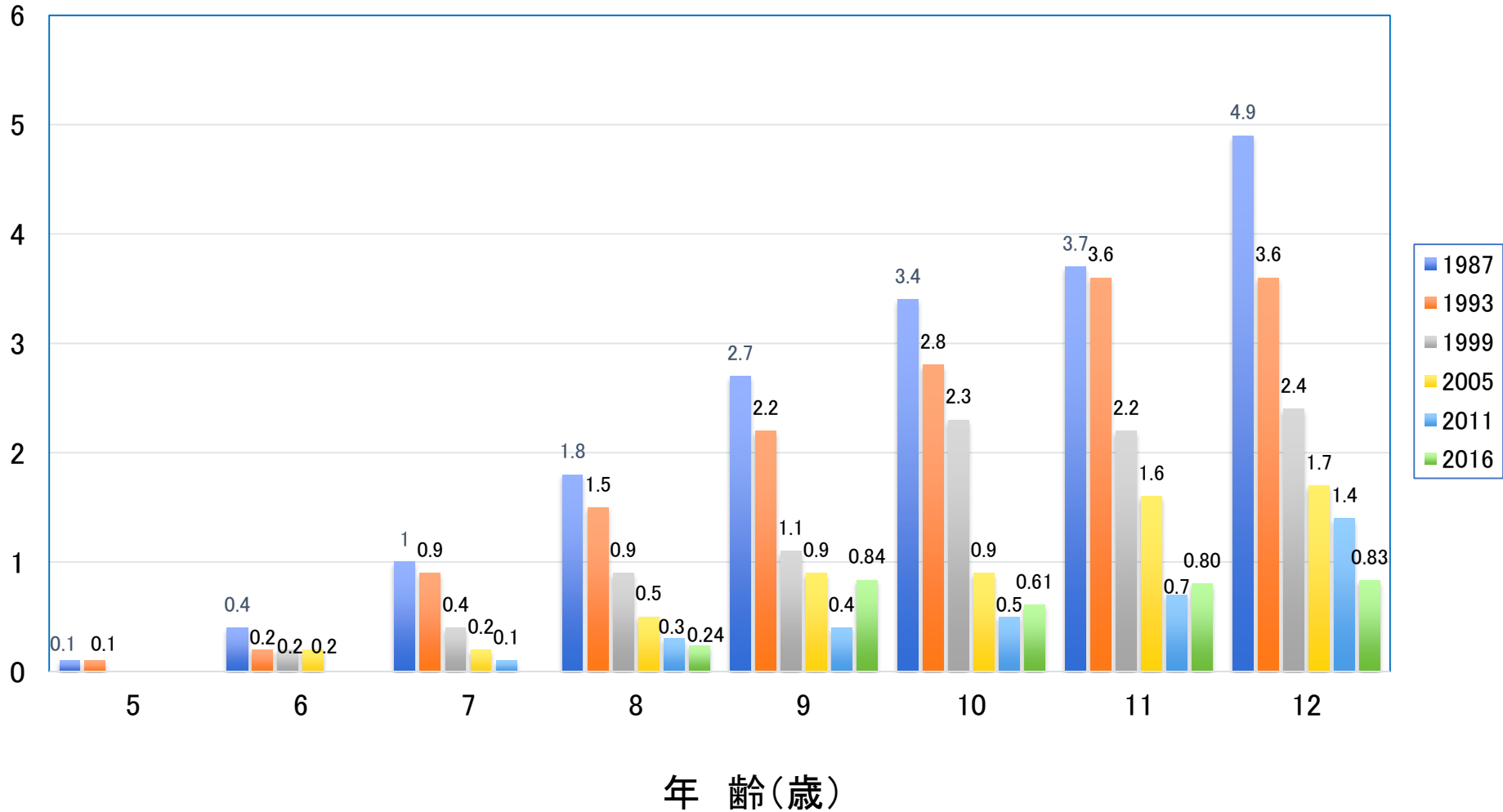


年齢別う蝕有病者率(永久歯)

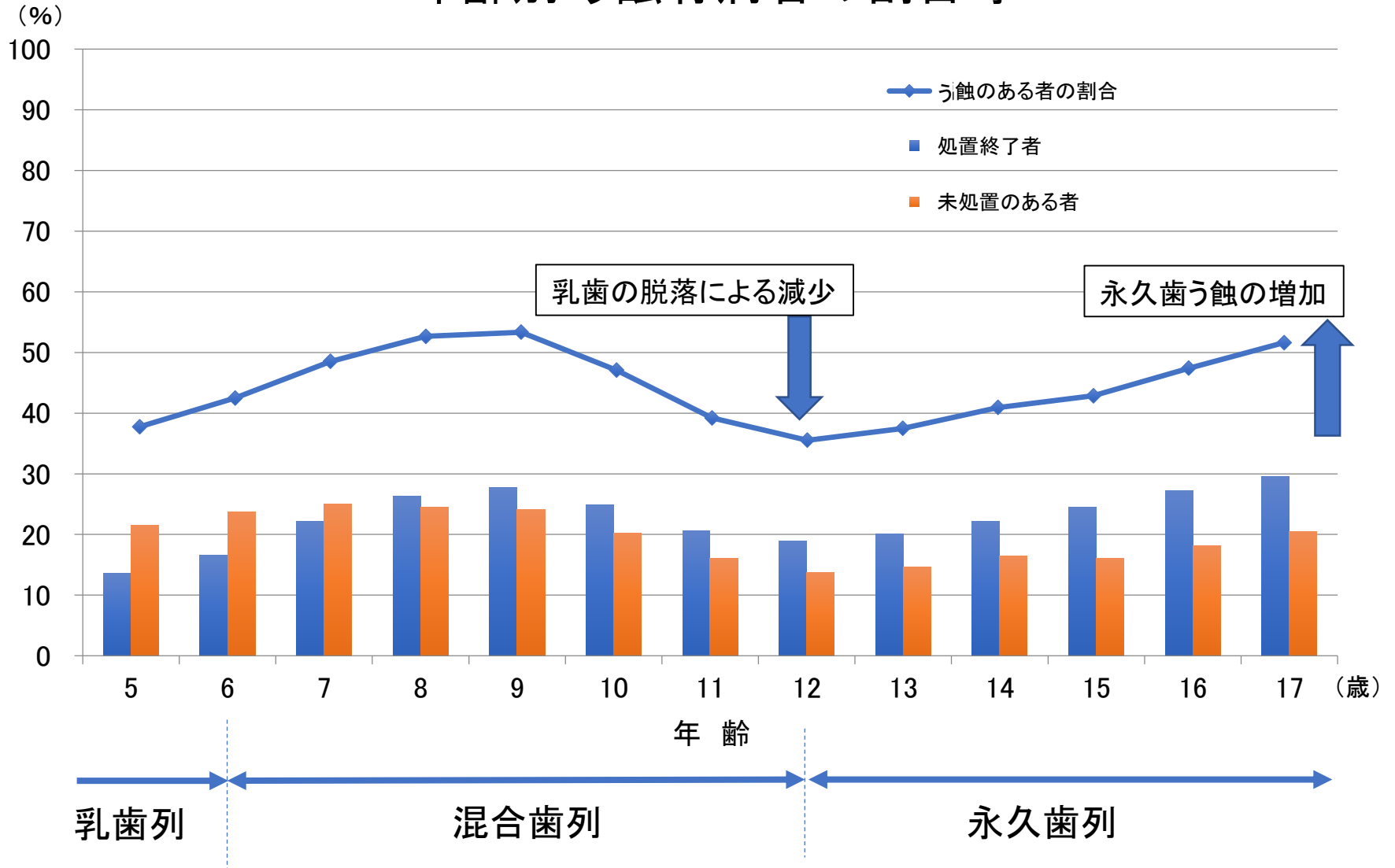


厚生労働省歯科疾患実態調査報告より作成(1987-2016年)

1人平均う歯数(永久歯)



年齢別 う蝕有病者の割合等



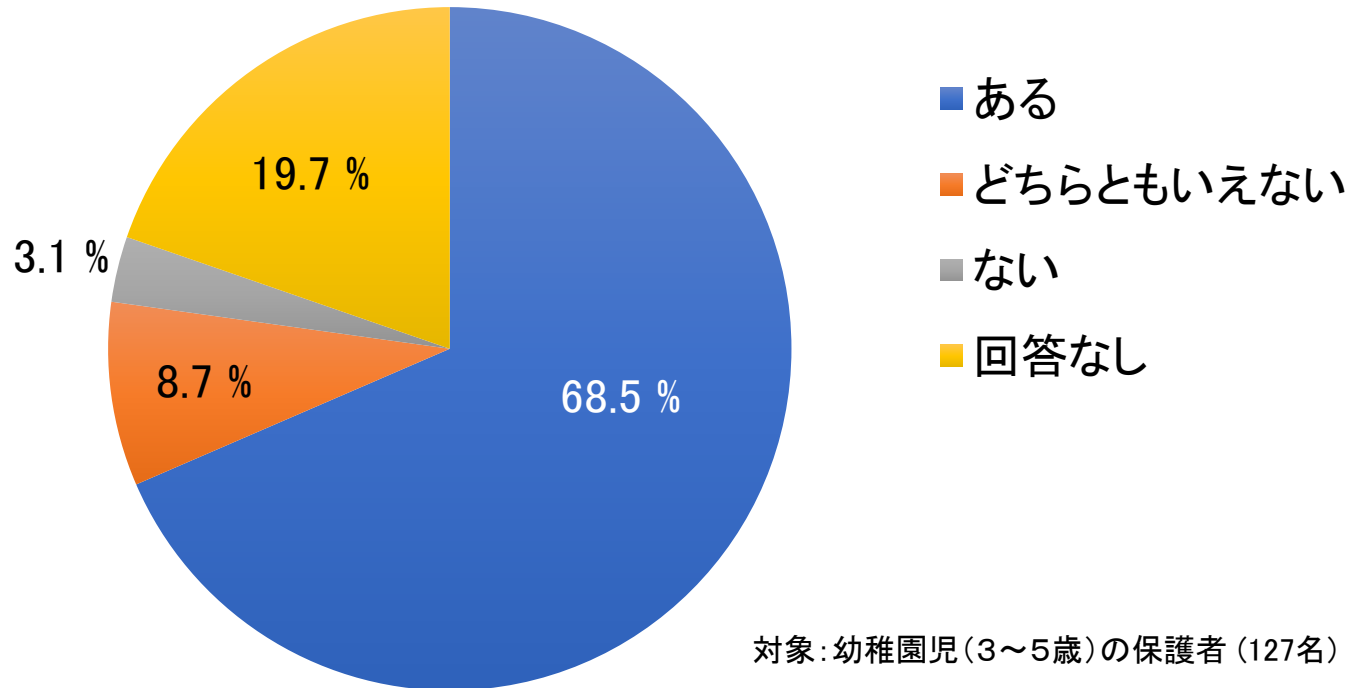
医療施設に従事する歯科医師数(人)

総数	101,551
歯科	92,124
矯正歯科	20,393
小児歯科	39,586
歯科口腔外科	27,570
臨床研修歯科医	1,882
不詳	605

取得している広告可能な歯科医師の専門性に関する資格名別にみた歯科医師数

	歯科医師(人)	割合(%)
総数	101,551	100
口腔外科専門医	2,083	2.1
歯周病専門医	1,181	1.2
歯科麻酔専門医	363	0.4
小児歯科専門医	1,261	1.2
歯科放射線専門医	186	0.2
取得している資格なし	96,791	95.3

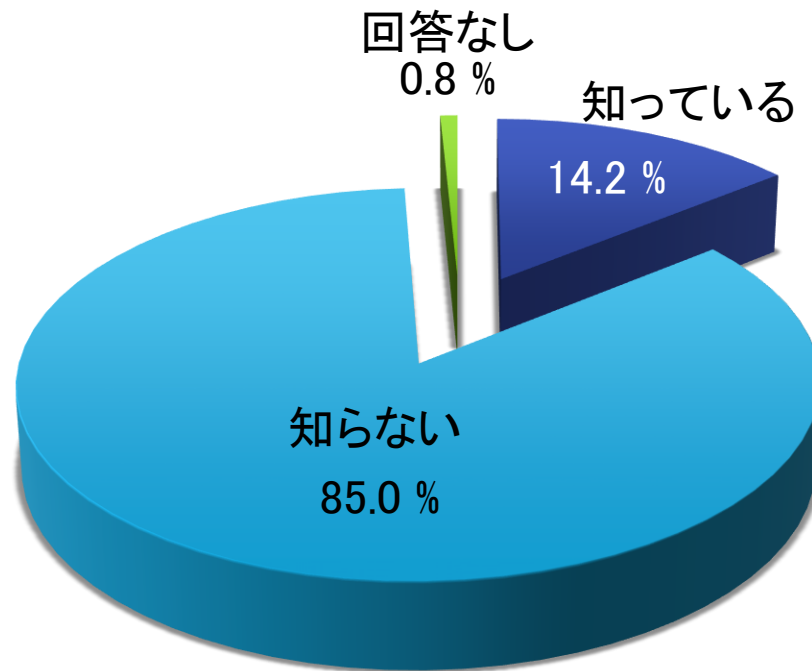
子どものかかりつけ歯科医の有無



対象:幼稚園児(3~5歳)の保護者(127名)

箕島ら 小児歯科学雑誌 50巻 2号、2012年より

小児歯科専門医に関する認知度

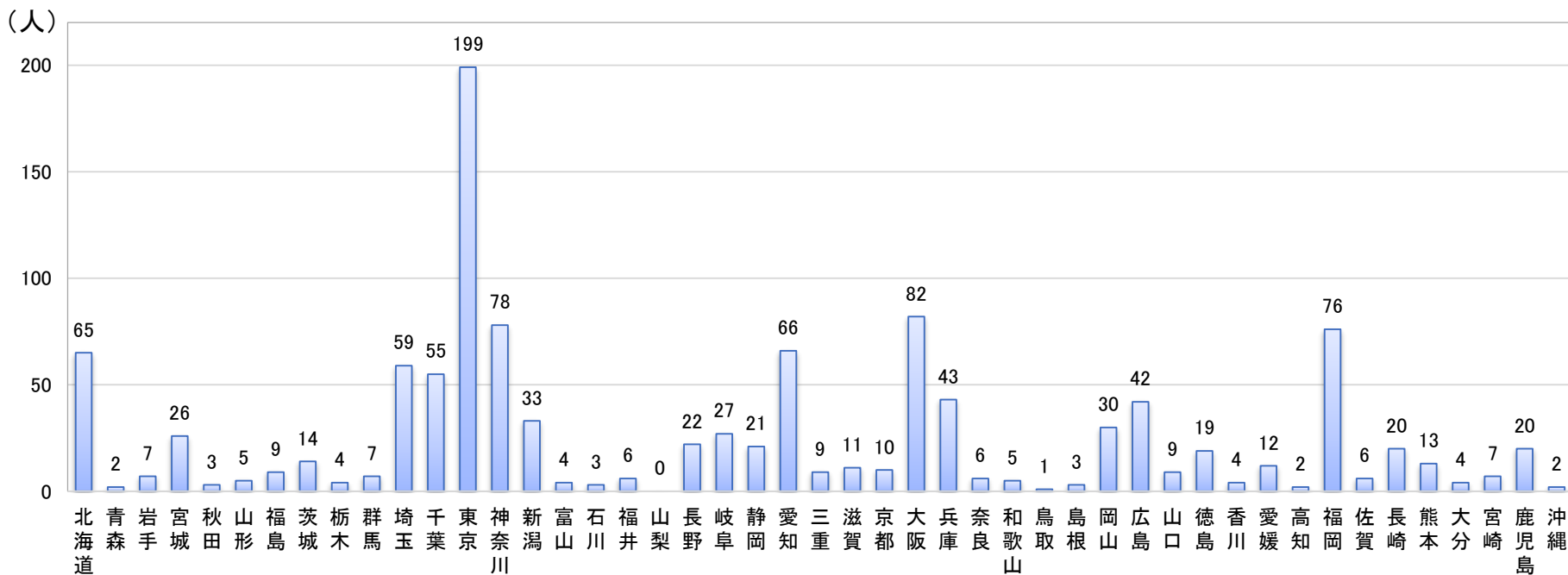


対象: 幼稚園児(3~5歳)の保護者(127名)

蓑島ら 小児歯科学雑誌 50巻 2号、2012年より

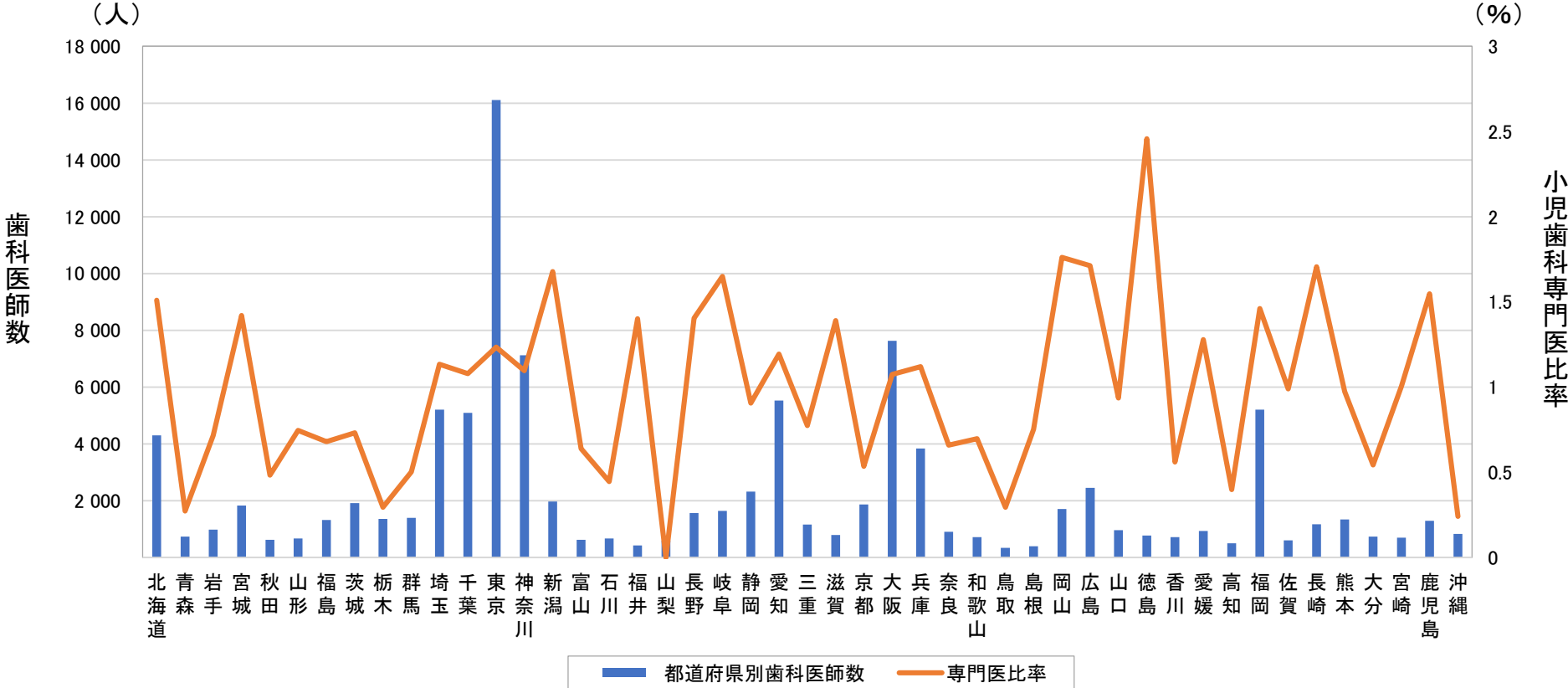
(公社)日本小児歯科学会認定小児歯科専門医

都道府県別小児歯科専門医数



2019年1月末現在

都道府県別歯科医師数と小児歯科専門医比率



平成28年(2016年)医師・歯科医師・薬剤師調査より作成

子どもの口腔の健康の充実・増進に向けた取組について

歯は人間の成長、発達、発育期に乳歯から永久歯への交換というダイナミックな変化をしており、口腔も成長、発達を続けています。超高齢社会を迎えた現在、生涯にわたって歯と口腔の健康を保持していくためには、小児期からの歯科疾患の発症予防、治療による重症化対策は非常に重要です。そのため、次のような取組が必要です。

- ・むし歯の減少、軽症化の中で、むし歯がほとんどない子と常にむし歯を持っている子の二極化を改善していくことが必要です。
- ・小児期の歯科疾患の予防・治療の重要性の国民・患者さんへの周知を図ることが必要です。
- ・出生後、すべての子どもは「かかりつけ歯科医師」を持ち、歯科疾患の予防・治療・管理を徹底することが必要です。
- ・全身の健康増進の観点からも、小児期からの歯と口の健康が生涯を通じた全身の健康の増進に繋がることを広く国民に啓発することが必要です。